

自動書庫の内部です。天井高くまで資料が入った棚がそびえ立っています。棚と棚の間を全自動のクレーンが高速で動き、資料の出し入れを行います。

必見！ 自動書庫の内部



東側（基礎工学研究科側）の外壁には窓があり、暗がりの中に立ち並ぶ棚を見ることができます。



総合図書館C棟3階（B棟3階PCエリアの奥の廊下）からは、出庫・入庫の際に、資料が入ったコンテナが通る様子を間近に見ることができます。目にもとまらぬ速さで動く台車は見ものです。



目次

本学初の自動書庫、運用開始	P.1-3
理工学図書館 新ラーニング・commonsがオープン	P.4
外国学図書館 AVライブラリー・AVcommonsがオープン	P.5
NEWS 図書館からのお知らせ	P.6-7
図書館で働くTAを紹介します	P.8

総合図書館南側に本学初の自動書庫が完成 ～資料の効果的な収蔵が可能に～

2015年3月、総合図書館南側に建設していた自動書庫が完成しました。自動書庫とは、人が中へ入らずに、機械が全自動で資料の出し入れを行う書庫です。スペースの節約により、より多くの資料を収納することが可能になります。近年図書館においては、増大する所蔵資料の保管スペースをいかに確保するかが喫緊の課題となっており、その解決策として、全国の多くの図書館で自動書庫の導入が進んでいます。そしてこのたび、本学にとって初めてとなる自動書庫が建設され、6月に運用を開始しました。

建設の決定は2013年3月。いくつかの大学図書館・公立図書館の自動書庫を視察したのち、2014年5月に建設が開始され、1年弱の工期にて完成となりました。全体の収蔵可能冊数は約60万冊。2015年度



外壁には、つる性植物やスタンドグラスもあしらわれています

自動書庫の概要

資料収蔵スペース	21.7m (W) × 14.1m (D) × 10m (H)
収蔵可能冊数	約60万冊
出庫にかかる時間	申込みから約3分

は、附属図書館所蔵の製本雑誌と図書、あわせて38万冊を入庫します。2016年度以降は、現在研究室にある資料を順次入庫することで、資料の共同利用を推進していく予定です。また、資料の移動によって空いたスペースを活用し、アクティブ・ラーニングのための空間をさらに充実させることもできました（詳しくは前号をご覧ください）。

自動書庫内の資料を利用されたい場合は、総合図書館内に設置されています OPAC（蔵書検索）専用端末から申込み、C棟2階相互利用カウンターで資料を受け取ります。そのあと、館内で閲覧・複写、またはA棟2階メインカウンターで貸出手续をしていただきます。利用終了後の返却は、通常どおりメインカウンターまでお願いいたします（ご利用の流れは次頁で解説します）。本学が誇る最新設備を、どうぞご活用ください。

利用支援課 林英哉

自動書庫内資料の利用方法

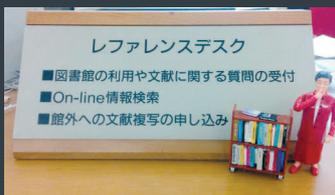
新体制—— 生命科学図書館 カウンター

生命科学図書館では職員体制の変更に伴い、2015年4月より従来参考カウンターで受け付けていた相談業務を事前予約制に変更しました。

4月・5月は午前から夕方まで予約が埋まるほどの盛況ぶり。看護学系の学部生・院生を中心に、研究計画書提出や学会エントリーを控えたご相談が多く寄せられました。

6月に入ると、学内はもとより学外からの、現職の看護師さんの利用が目立つようになりました。

予約はカウンターで直接受け付けています。ご相談の内容を予めうかがうことで、相談時間を見積もるためですが、予約方法をもっと簡便にして欲しい、という要望もいただいています。図書館側も予約制に移行して1年目。まだ手探りの部分もあり、Webでの予約対応など検討を行っています。



カウンターにいる謎のキャラ、ナンシーさん。彼女がご相談に対応する…わけではありません。

(右側に続く)



①

総合図書館内の蔵書検索 (OPAC) 専用端末で、利用したい資料を探します。



巻号	配架場所
1(45-48)	総合図-自動書庫

出庫

②

雑誌の場合、巻号ごとに表示される詳細画面を開き、配架場所が「自動書庫」になっていることを確認します。画面右端に表示されている「出庫」ボタンをクリックして申込みをします (図書の場合も同様に「出庫」ボタンをクリック)。



棚から該当の資料が入ったコンテナが取り出されます。



自動書庫から受け取り場所までの距離は約50m。全国の自動書庫の中でも最長クラスです。その長い距離を迅速に運ぶため、本学特別仕様様の「高速移動台車」(左写真)にコンテナを載せ、毎分200mの速さで運搬しています。

③

C棟2階相互利用カウンターに到着したあと、資料を受け取ることができます。



④

貸出はA棟2階メインカウンターです。

館内コピー機で複写もできます。



⑤

利用終了後はA棟2階メインカウンターまで返却をお願いします。

壁面緑化を担当 環境サークルGECS 平岡さん

自動書庫の外壁では壁面緑化が行われています。植えられているのは、ヘデラというつる性植物のうちの常緑種のもので、1年で約30cm成長し、5年後に緑化が完成する予定です。季節にあわせた水やりの管理が大切で、地中を通った管から、決まった時間に決まった量の水が出るシステムになっています。手入れは、本学の環境サークルGECS・壁面緑化班の平岡功匡



ヘデラを愛でる平岡さん

さん（基礎工学部3回生）が主に担当しています。

「基本は見守るだけですが、枯れたり、強風で壁から剥がれたりすると補修します」とのこと。また、1年に1回、追肥も行う予定です。5年以上の長期にわたる〈見守り〉になるため、「後輩へちゃんと伝えていこうと思っています」と意気込みを語っていました。



手のひらより大きな葉もあれば、小さくて可愛い葉もあります

海外の自動書庫(アメリカ・ユタ州)

図書館システム担当
森石みどり

2014年9月、アメリカ合衆国のユタ州ソルトレイク近辺の二つの自動書庫を見学しました。どちらも乾燥した気候にあわせて、自動書庫内は室温17度・湿度30%前後にコントロールされ、雑誌や利用の少ない図書、マイクロ資料等が保存されていました。日本の自動書庫と機能は同じですが、資料を保管するコンテナの形をはじめ、かなり印象が違いました。よく使われる資料が入っているコンテナを、自動書庫内の出しやすい場所に並べなおすリロケーション機能はないようでした。レールはほぼ直線でカーブせず、上下に動く出納ロボットとレールに対応した数の出納ステーションがありました。



ユタ大学 ARC (アーク)
Automated Retrieval Center
収蔵可能冊数200万冊

北米で一般的なタイプの自動書庫です。bin (ビン) と呼ばれる銀色のコンテナの中から、自動的に隙間のあるコンテナが用意され、そこに資料を入庫します。自動書庫の空間の上層に出納ステーションが設置されているため、並んだbinの間を地の底から資料の入ったbinが登ってきては、また地の底の元の場所へ戻っていきます。その様子は残念ながら普段は職員しか見ることができません。



ユタ州立大学 BARN (バーン)
Borrower's Automated Retrieval Network
収蔵可能冊数150万冊

3段両面ブックトラック型のShelf (シェルフ) に、雑誌は巻号順、図書は請求記号順に資料を入庫する珍しいタイプの自動書庫です。職員が資料を探す際にとても効率の良さそうです。返却の際も資料のバーコードを読めば、取り出したShelfが用意され、元あった場所に戻すことができます。館内の窓から3段のShelfが上下に動く様子を見ることができます。



こちらが本物の相談業務担当、赤井規晃専門職員。論文テーマの絞り方から文献の探し方まで、丁寧に対応しています。

「相談者のみなさんには、自律的な文献探索ができるようになって欲しい。その原体験を提供したいと考えています。」

そのためには研究したい事柄を的確につかみ、相談者と一緒に考えていかなければならないので、1時間半くらいじっくりと対話することが必要ですね。」

「文献探索において個々のツールの使い方を知ることは始まりに過ぎません。一番重要なことは、課題を解決する過程で《いつ》《何を》使えばよいかをたくさんの実践を通して身に付けていくことにあります。」

そうして、研究テーマや分野が変わっても応用可能な文献探索のスキルを磨いていって欲しいと思います」とのこと。

「初めて論文を書く」「研究に行き詰まった」…そんな時は、一度カウンターをおたずねください。



理工学図書館東館1階に 新ラーニング・コモンズがオープンしました！

新機器紹介① ClickShare



各自のPC画面をプロジェクタで投影し、切り替えながらプレゼンテーションやディスカッションをする時には、ClickShareが便利です。ケーブルを差し替える必要がなく、ボタン一つで発表者の画面に切り換ができます。また、4画面までの同時投影もできます。

2015年4月、理工学図書館東館1階に新しいラーニング・コモンズがオープンしました。入館ゲートから西館を抜け、渡り廊下の向こう、東館に新ラーニング・コモンズが広がります。この空間デザインは、キャンパスデザイン室の先生方にご協力いただきました。TA席も新ラーニング・コモンズの中央にあります。また、電子黒板BIGPAD等、ディスカッションやプレゼンテーションに便利な機器が多数導入されました。理工学図書館は、皆さんのアクティブ・ラーニングを全力でサポートしていきます。

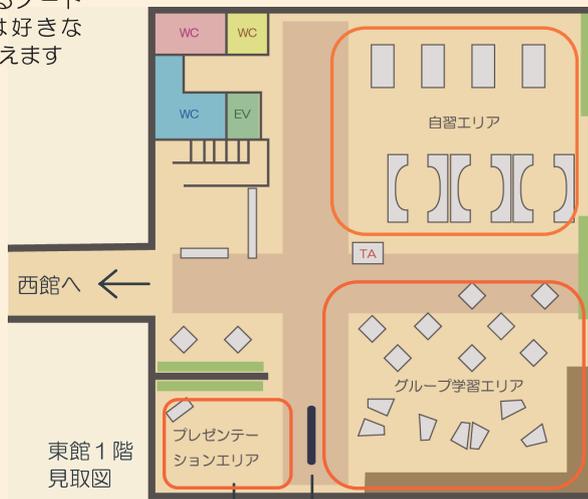


37脚あるノードチェアは好きな場所で使えます



自習エリアには、必要な時にみなで話せる座席もあります

四面ある緑色の大きな壁は、ホワイトボードのように書き消しできます



グループ学習エリアにはテーブル席とカウンター席があります

新機器紹介② Deldea



Deldea、PC、プロジェクタを接続すると、投影画像が電子黒板として使えるようになります。電子ペンでその投影画像にタッチすればPC本体の操作もできます。投影画像に書き込んだ内容をファイルに保存することもできます。

上の写真は、4月に開催した新機器説明会で、超短焦点プロジェクタとDeldeaを組み合わせて使い、机上に画像投影している様子です。

新機器絶賛貸出中！

BIGPAD、Deldea、Wivia、ClickShare、超短焦点プロジェクタ、ICレコーダー、ワイヤレスマイク、スピーカー等々、グループ学習に便利な機器を多数取り揃えています！

詳細は理工学図書館Webサイトをご覧ください

グループでBIGPADを使用中



5月から、ラーニング・コモンズの施設予約ができるようになりました。ぜひ授業等でご利用ください。

プレゼンテーションエリアでは、操作テーブルのキーだけで、プロジェクタ、スクリーン、赤外線マイクが使えます。

左はプレゼンテーションエリアでの、工学研究科地球総合工学専攻による建築設計課題講評会の様子です。

外国学図書館に AVライブラリー・AVコモンズ リニューアルオープン！

資料紹介

2015年4月、別棟にあったAVライブラリーを外国学図書館4階へ移設しました。また、それにあわせて、最大20名まで同時に視聴できるAVコモンズを新設しました。



AVライブラリー内に展示されている、正方形のパッケージの中身はレコード？——いえいえ、違います。レーザーディスク（LD）です。

レーザーディスクとは、1990年代前半に普及した、VHSにとってかわる映像媒体のことです。その後、DVDが普及したことにより、衰退してしまいましたが、数多くの名作がレーザーディスクで発売されました。



AVライブラリーでは、DVD、レーザーディスクなどの視聴覚資料のほか、クラシックなどの音楽資料、語学CDなどを視聴することができます。



1人用映像ブース20席、2人用映像ブース2席、1人用音声ブース3席を設置。周りを気にすることなく利用できます



新設されたAVコモンズには、大型のモニターを設置。自由に椅子を移動でき、多人数で利用できます

AVコモンズは、授業やイベントスペースとしても機能しています。70インチのBIGPADは、AVライブラリーの資料を視聴するだけでなく、授業のプレゼンテーションや講演会等でも活用されています。

「バック・トゥ・ザ・フューチャー」シリーズ（スティーブン・スピルバーグ製作、ロバート・ゼメキス監督）

写真左から：

『バック・トゥ・ザ・フューチャー part2』（LD）

『バック・トゥ・ザ・フューチャー』（VHS）

『バック・トゥ・ザ・フューチャー part3』（LD）

1985年に公開された『バック・トゥ・ザ・フューチャー』。その2作目となる『バック・トゥ・ザ・フューチャー Part2』（1989）には、2015年へタイムスリップするというシーンがあります。

AVライブラリーでは、「バック・トゥ・ザ・フューチャー」シリーズ3作品を全て視聴することができます。この機会にぜひAVライブラリーへ足を運んでみては？



様々な国の映画を視聴することができます。この資料の豊富さは、外国学図書館ならではの！ AVライブラリーで楽しく語学力が身につくかも？



2015年5月26日に開催された、ハンガリー語専攻主催の講演会「愛なき人生に意味なし」の1コマ

NEWS☆図書館からのお知らせ(2015.2～)

教員著作資料 ご紹介①

澤井実 著

帝国日本の技術者たち



(吉川弘文館、2015)

戦前日本の帝国的経済圏が東アジアに拡大するにつれて、技術者の役割も増大しました。また戦時期になると軍需関連技術者が急増します。太平洋戦争の敗戦によって植民地を失い、帝国陸海軍が消滅すると、技術者の引き揚げ、軍事部門から民需部門への転換が急がれます。本書ではそうした過程が検討されています。また軍需技術と戦後高度成長の関連についても考察しました。

澤井実 教授
(経済学研究科)

図書館オリエンテーション・ツアー [総合図]

◆4月6日～13日の間、総合図書館で新入生を対象に図書館オリエンテーションと図書館ツアーを開催しました。図書館の特色や基本的な利用方法についての説明の後、職員の手導で図書館を一周するツアーを行いました。オリエンテーション、ツアーあわせてのべ1400名近い新入生の参加があり、賑やかな新学期となりました。

留学生オリエンテーション [外国学図]

◆日本語日本文化教育センター、国際教育交流センターからの依頼を受け、英語による留学生オリエンテーションを行いました。4月8日には学部留学生プログラムの留学生50名、6月22日には短期留学生41名の参加がありました。

いちよう祭参加報告

◆5月1日～2日のいちよう祭の期間中、総合図書館では施設を開放し、館内ツアーおよび図書展示を行いました。今年は2日目のオープンキャンパスにも、会場に図書館案内のポスターを掲示し、スタンプラリーの押印箇所として参加しました。そのため、施設開放に訪れる方が例年より大幅に増加し、高校生の姿も目立ちました。

ギャラリーゾーンでは、古浄瑠璃コレクション「赤木文庫」より、普段目にするのできない貴重資料を展示し、好評でした。

図書展示 [総合・生命科学・理工学・外国学図]

- ◆ブックコレクション（書評対決）[総合図]（毎月入替）
- ◆教科書でめぐるアフリカ一周 [外国学図]（1月～2月）
- ◆ヒツジふわふわ [理工学図]（1月～3月）
- ◆冬ごもりのおすすめ本 [生命科学図]（2月）
- ◆TA "Recommended Books" 「海外に飛び出そう!!!」 [外国学図]（2月～3月）
- ◆第42回「14冊の本棚」：「あいを読む」14冊+α [外国学図]（2月～3月）
- ◆新生活のおすすめ本 [生命科学図]（3月～4月）
- ◆The World of STUDIO GHIBLI [理工学図]（3月～4月）
- ◆第43回「14冊の本棚」：陳舜臣さん特別企画14冊+α [外国学図]（3月～5月）
- ◆『入学・進級おめでとうございます！ 新学期のテキスト展示』 [生命科学図]（4月）
- ◆Harry Potter～るくすTAとみる多言語の世界～ [外国学図]（4月）
- ◆この春あらためて学ぶレポートの書き方 [理工学図]（4月～5月）
- ◆TAを味わおう [外国学図]（4月～5月）
- ◆第6回「専攻語図書リレー展示」：スウェーデン語 [外国学図]（5月）
- ◆デザインを考える、デザインして考える [理工学図]（6月～）
- ◆ピックアップ「なぜのか本」 [総合図]（6月～）
- ◆第44回「14冊の本棚」：スペインを知る14冊+α [外国学図]（6月～7月）
- ◆第45回「14冊の本棚」：幕末への道14冊 [外国学図]（7月）
- ◆第46回「14冊の本棚」：夏におススメの本14冊 [外国学図]（7月～8月）



スペインを知る14冊



「なぜのか本」

文献入手入門 [総合図]

◆6月8日、総合図書館ラーニング・コモンズで講習会「文献入手入門」を開催しました。主に雑誌論文の入手方法について、データベース検索結果や文献リストから効率よく本文を入手するにはどうしたらよいかを、電子リソース、冊子体資料、取り寄せの段階ごとに、実例を示しながら説明しました。参加者からは「順を追った説明で分かりやすかった」等の声が聞かれました。

読んだ本をおススメして、きくみみくんクリアファイルを当てよう！ [外国学図]

◆6月30日までの期間中、外国学図書館で本を借りた方に、その本のおすすめポイントを「おすすめカード」に記入し応募すると、抽選で30名様にきくみみくんオリジナルクリアファイルをプレゼントするというイベントを行いました。ご応募いただいた多数の「おすすめカード」の中から14冊を選び、応募者のレビューと共に2階の展示コーナーに第46回14冊の本棚「夏におススメの本14冊」として紹介しました。

データベース等利用講習会 [総合・理工学・外国学図]

◆6月から7月にかけて、各種データベース等の利用講習会を開催しました。豊中・吹田地区ではReaxys、Scopus、Web of Science、SciFinderの各データベースと文献管理ツールMendeleyについて、箕面地区ではMLA International Bibliography、ProQuest Research Libraryについて、外部講師を招いて計12回実施し、のべ317名の参加がありました。

TA講習会 [総合・理工学・外国学図]

5月から7月にかけて、総合図書館、理工学図書館、外国学図書館において、図書館TA(ティーチング・アシスタント)が各自の専門知識を生かした講習会を開催しました。

◆総合図書館 (ラーニング・コモンズにて)

- ・アカデミック・ライティング入門～心構え編～
- ・アカデミック・ライティング入門～アイデア発想編～
- ・アカデミック・ライティング入門～資料収集編～
- ・就職か進学か～法学部生の進路を考える～
- ・PowerPointによるプレゼンテーション入門
- ・身近な流体力学を考える
- ・統計用言語 R の使い方
- ・教科書以外での中国語勉強
- ・計算物理入門～fortranを体験～

◆理工学図書館 (ラーニング・コモンズにて)

- ・17卒向け就活事始め
- ・哲学カフェ「AI (人工知能) とロボット (機械)」
- ・発明には法則がある！～あらゆる問題解決に使える「科学的」思考支援ツールTRIZについて～
- ・Webプログラミングのすゝめ～DIY: コードをいじってサイトを自作～
- ・IoT: Internet of things 未来の無線通信
- ・効果的な議論の進め方
- ・大阪歴史物語

◆外国学図書館 (るくす (ラーニング・コモンズ) にて)

- ・オンデマンドCNKI利用基本操作講習会
- ・新聞検索超入門～あの時の新聞あの国の新聞～
- ・TOEFL? IELTS? お昼休みですが比べてみました
- ・漢字文化の魅力～中国語の四字成語を楽しもう～
- ・フィールドワーク入門 (フィールドワークに行こう! ①)
- ・フィールドワーク実践編 (フィールドワークに行こう! ②)
- ・るくす大学院進学相談会
- ・CiNiiを基礎から使いこなす
- ・図書館の達人になりましょう!

教員著作資料 ご紹介②

義永美央子 山下仁編

ことばの「やさしさ」とは何か
：批判的社会言語学からのアプローチ



(三元社、2015)

本書は大阪大学大学院言語文化研究科の教員および卒業生、在学生が中心となって編まれた論文集である。「やさしさ」を共通のキーワードにしながら、日本語教育、医療のことば、ろう教育、言語景観、震災と原発などのさまざまな事象にアプローチしている。言語や社会現象を研究の対象とするものが、それぞれの実践や思索、具体的な調査に基づいて、「やさしさ」という、古くて新しい価値を再評価し、対話の可能性を提供する。

山下仁 教授
(言語文化研究科)

図書館で働くTAを紹介します

学生のみなさんの学びをサポートする図書館TA（ティーチング・アシスタント）をご紹介します。勉強や進路で悩んだとき、図書館で相談してみませんか？

TA研修を 実施しました



みなさんの学習相談に応える力を磨くため、5月から6月にかけてTAの研修を行いました。講師は全学教育推進機構の堀一成准教授にお願いし、総合図書館、理工学図書館、外国学図書館であわせて4回を実施、計23名のTAが受講しました。

研修の内容は多岐に渡り、教育学の知見（人はどのように学ぶか）や学習支援活動に際しての心がけについてのレクチャーを中心にしつつ、過去にTAが経験した対応事例を元にして、グループワークなども行いました。

受講したTAにとって初めて学ぶ内容が多く、レクチャーに熱心に耳を傾け、活発に議論をしていました。研修で学んだことを生かそうと、それぞれの図書館でTAがみなさんをお待ちしています。どうぞ気軽にご相談をお寄せください。

総合図書館

グローバル・コモンズでもTAに相談できます

初めまして。2015年4月から、総合図書館グローバル・コモンズでTAを始めました、小林朋世と申します。多くの学生がそれぞれのニーズにあわせて、ここを利用しています。グローバル・コモンズのエントランス付近に、大きなタッチパネルの機器が3台（テーブル型1台、端末型2台）あるのは、ご存知ですか。世界中の新聞を読んだりできるので、一度、試してみてください。



TAとして、私が受け付けた相談で多いのは、海外留学についてです。私自身、苦しいTOEFLやIELTS（留学の際に必要な英語の試験）を克服し、昨年度、留学しました。海外留学やTOEFLやIELTS対策を含め、図書館の利用や大学院試験等、気軽に相談に乗ります。是非、ご活用願います。

理工学図書館

TA Facebook 始めました

アクセスは
こちらから→



こんにちは！ 人間科学研究科教育の国際化研究室のKIM HALIMです。今年4月から理工学図書館でTAとして働き始めて分かったことは、TAだからといって、単に選書・相談受付をするのではなく、それ以外でも色々な業務ができるということです。自分が率先してイベントを企画したり、新しく入ってきた機器に触れたり。特に最近取り組むようになったFacebookのグループページでは、学生の方がおそらく知らないだろう図書館サービス・施設や本、イベントなどの紹介ができるようになりました。このように、これからも学生のみなさんにより身近で魅力ある図書館の存在を伝えていきます！



外国学図書館

Let's talk with me !

初めまして！ 外国学図書館TAの平川和です。普段は言語文化研究科の院生としてアメリカ文学を研究しています。学部生時代にはアメリカ留学も経験しました。研究や留学で得た知識を生かして、少しでもみなさんの勉強をサポートできたら幸いです。



ちなみに私のTAデスクには、英語勉強法や論文の書き方、留学や進学に関する相談をしに来る学生さんが多いです。また、これまで「スターバックスからアメリカを学ぶ」など、英語やアメリカをテーマにしたミニ講習会を実施しました。ただ単に役立つというだけでなく、みなさんの知的好奇心を刺激するような講習会を企画していきたいと思えます！

どんな些細なことでもかまいません。気軽に声をかけてくださいね。

Vol.49 No.1 通巻187号

2015年8月31日 発行

編集:大阪大学附属図書館

担当:田原勝典、岡田綾子、福永円、

林英哉、久世さとみ、六車彩都子、

小村愛美、井上直子、是枝奈美江

住所:大阪府豊中市待兼山町1-4

Web:<http://www.library.osaka-u.ac.jp/>

E-mail:kohowg@library.osaka-u.ac.jp

Twitter:@OsakaUnivLib